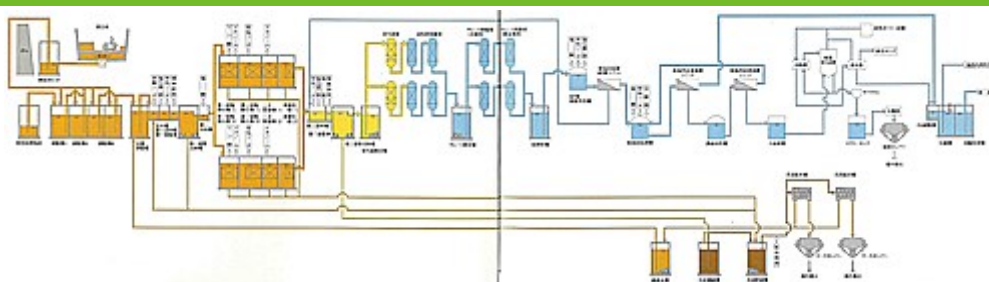


◆西部クリーンセンター(最終処分場浸出水処理施設) 設備の紹介



水処理システムフロー



中央監視室



施設全体の運転状況を示すデータが集められ、安全な処理を行うために、監視や機器操作を行います。



浸出水ピット

最終処分場からの浸出水を一旦貯留し、処理施設に送ります。



炭酸ソーダホッパー

浸出水中のカルシウムを除去するための凝集沈殿処理に使用する炭酸ソーダを貯留しています。



薬品貯槽

施設内で使用する薬品を貯留しています。



ブロー

槽内に空気を吹き込み、浸出水をきれいにしたり攪拌したりします。



遠心脱水機、ケーキホッパー

発生した汚泥を脱水し、ホッパーに溜めて場外へ搬出します。



高度処理装置

凝集沈殿処理後、砂ろ過、活性炭、キレート樹脂の各処理によって、水中に残る微量な重金属などを除去します。



MF膜

高度処理後に残っている水中の浮遊物を除去し、逆浸透膜の詰まりを防止します。



逆浸透膜

MF膜を通過した後、水中に残っている塩分などを除去するために、圧力をかけて逆浸透膜を通過させることで、きれいな処理水と、塩分などを含んだ濃縮水に分離させます。処理水は、施設内で再利用され、濃縮水は結晶固化装置へ送られます。



結晶固化装置

逆浸透膜で発生した濃縮水を、加熱・濃縮することで塩分を結晶化させます。その後、塩分は分離して取り除きます。